



CAN Japan COP直前セミナー パリ協定の実効性を握る非国家 アクターとCOP30におけるその役割

WWFジャパン 気候・エネルギーグループ
田中 健

2025年10月27日

© Days Edge / WWF-US

パリ協定／COPと非国家アクター



パリ協定前文

気候変動が人類の共通の関心事であることを確認しつつ、締約国が、気候変動に対処するための行動をとる際に、人権、健康についての権利、先住民、地域社会、移民、児童、障害者及び影響を受けやすい状況にある人々の権利並びに開発の権利に関するそれぞれの締約国の義務の履行並びに男女間の平等、女子の自律的な力の育成及び世代間の衡平を尊重し、促進し、及び考慮すべきであり、

→ **締約国はあらゆる状況の人々に考慮すべき**

この協定において取り扱う事項に関するあらゆる段階における教育、訓練、啓発、公衆の参加、情報の公開及び協力の重要性を確認し、

締約国のそれぞれの国内法令に従い全ての段階の政府及び種々の関係者が気候変動への対処に従事することの重要性を認め、

→ **誰もが知ること学ぶことのできる機会を作り、政府・非国家アクターがともに取り組むことが重要**

COP21決定文（Decision1/CP.21）

すべての締約国及び非締約国ステークホルダー（市民社会、民間セクター、金融機関、都市及び地方自治体、地域コミュニティ、先住民族を含む）による、より強力で野心的な気候行動を動員するため、地域的および国際的な協力を維持し促進することに合意。

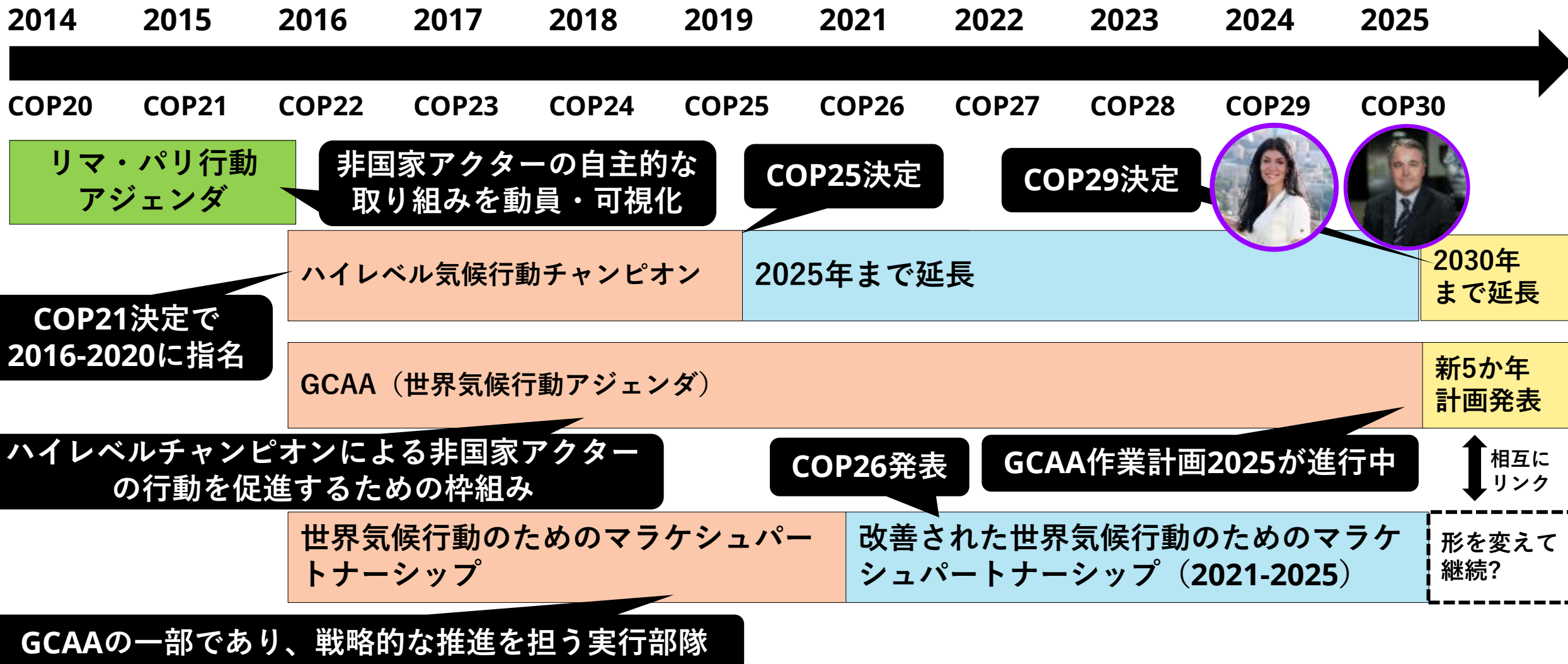
118. 締約国が非締約国ステークホルダーと緊密に協力し、緩和および適応行動を強化するための取り組みを促進することを奨励。

→ **締約国は非国家アクターの取り組みを動員し、非国家アクターと協力**

133. 市民社会、民間セクター、金融機関、都市及び地方自治体を含む、すべての非締約国ステークホルダーによる気候変動への対応と取り組みを歓迎する。

→ **非国家アクターの取り組みを歓迎・奨励**

COPと非国家アクターの関わり



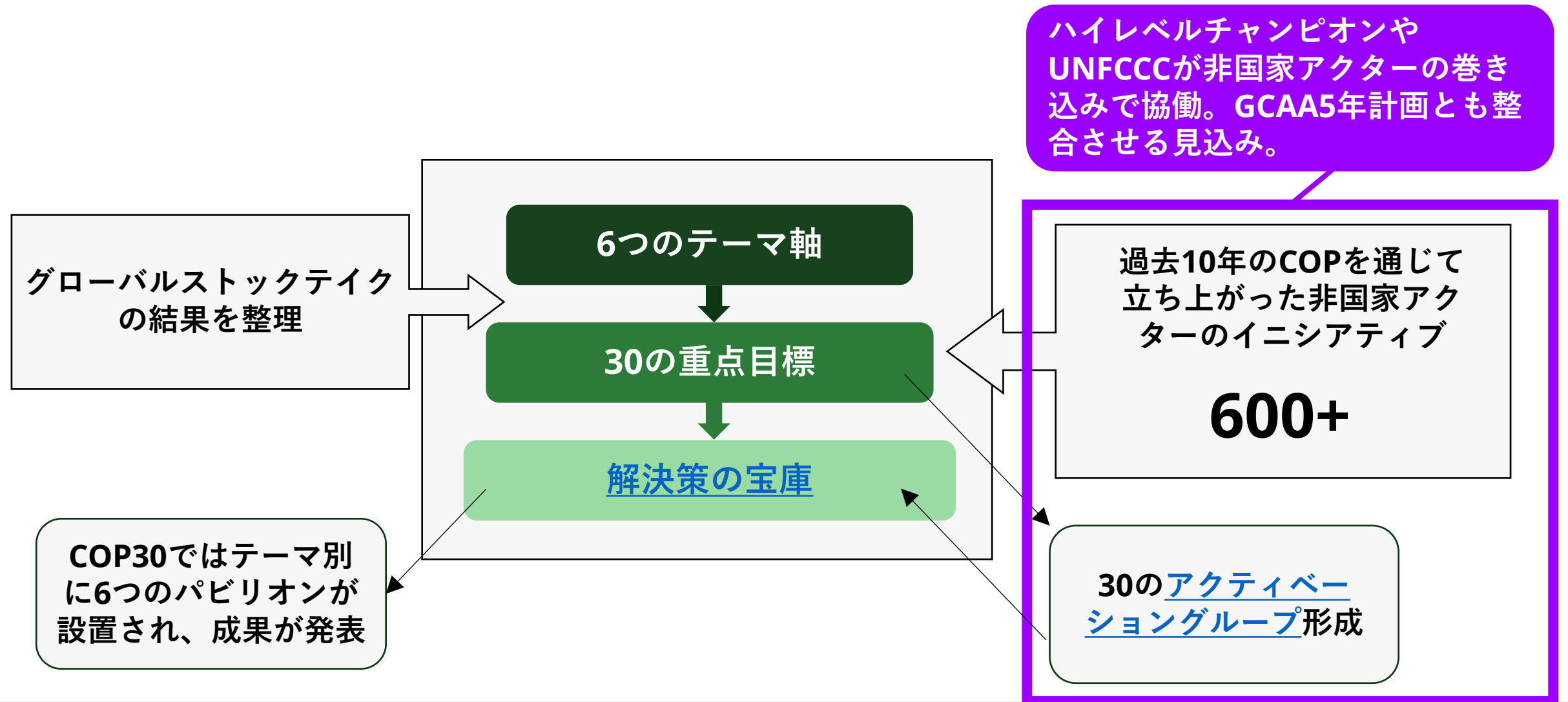
COP30成功の4つの柱と行動アジェンダ

行動アジェンダとは

- ・ 分散している非国家アクターの自主的な取り組みを集約し、加速につなげる
- ・ GST結果から明らかになったNDCのギャップを非国家アクターの行動促進によって埋める



行動アジェンダの構成



(参考) 6つのテーマ軸に基づく30の重点目標



アクティベーショングループ：各目標に非国家アクターイニシアティブが参加

1 エネルギー・産業・ 輸送の転換 (p.28, 36)	2 森林・海洋・生物多 様性の保全 (p.33-35, 63)	3 農業と食料システム の変革 (p.28, 55, 63)	4 都市・インフラ・水 のレジリエンス構築 (p.50, 63, 64)	5 人間および社会開発 の促進 (p.63, 114, 115, 131, 140, 143)
1. 再生可能エネルギーを3倍にし、エネルギー効率を2倍にする 2. 排出ゼロ・低排出技術の導入をHard-to-Abate分野で加速 3. 全ての人へのエネルギーアクセスを確保 4. 公正かつ公平な方法で化石燃料からの移行を進める	5. 森林減少と森林劣化を止め、逆転させるための投資 6. 気候・生物多様性・砂漠化の解決策により自然と生態系を保護・回復する取り組み 7. 沿岸・海洋生態系を保護・回復する取り組み	8. 土地回復と持続可能な農業 9. より強靱で適応的、持続可能な食料システム 10. 誰もが公平に豊かな食料と栄養にアクセスできるようにする	11. 多層的ガバナンス 12. 持続可能で強靱な建築物と建設 13. 強靱な都市開発、モビリティ、インフラ 14. 水資源管理 15. 固形廃棄物管理	16. 強靱な保健システムの推進 17. 飢餓と貧困の撲滅における気候変動の影響を減らす 18. 教育、能力強化、雇用創出を気候変動対策と結びつける 19. 文化、文化遺産保護と気候行動
横断的要素 資金・技術・能力強化等を実現・加速する推進力の最大化 (p.69, 70, 83, 90, 95, 96, 103, 107, 108, 109)				
20. 気候と持続可能な金融、投資・保険における気候主流化 21. 適応のための資金調達 22. 気候統合的な公共調達 23. 炭素市場と炭素会計基準の調和	24. 気候と貿易 25. 非CO₂ガスの削減 26. 気候行動、計画、備えのためのガバナンス、国家能力、機関強化 27. 人工知能、デジタル公共インフラ、デジタル技術			28. イノベーション、気候起業家、中小企業 29. バイオエコノミーとバイオ技術 30. 気候関連情報の信頼性確保

COP30開始前から国際注目を集める動き



イベント名	開催日/場所	主催	主な参加者
COP30 Local Leaders Forum	11/3-11/5 リオデジャネイロ	Bloomberg Philanthropies COP30議長国	都市・地方自治体のリーダー
COP30 Business and Finance Forum	11/3-11/5 サンパウロ	Bloomberg Philanthropies	企業、金融機関
Climate Action Innovation Zone	11/6-11/8 サンパウロ	Climate Action	以下3つのフォーラム、サミットに、企業、金融機関、慈善団体、その他の非国家アクターを多数集めて、非国家アクターの取り組みを結集
Sustainable Innovation Forum	11/6-11/7 サンパウロ		
Agri-Food Systems Summit	11/7 サンパウロ		
Climate Implementation Summit	11/8 サンパウロ		

まとめ | COP30はImplementation（実行）！



- 非国家アクターは、グローバルストックテイクを通じて合意された1.5°Cを実現する削減水準、化石燃料から再エネへのエネルギー転換、森林破壊ゼロ・生態系保全などについて、**NDCの現状とのギャップを埋める重要な役割**として期待。
- **議長国ブラジル、ハイレベルチャンピオン、UNFCCCが整合的に協働しながら**、非国家アクターの取り組みを促進、加速しようとしている。
- 新たなイニシアティブの立上げではなく、**すでにある600以上のイニシアティブによる取り組みを集約し、非国家アクター全体のImplementation（実行）を加速**することに注力している。
- こうした機運を盛り上げるべく、**世界中の非国家アクターが、COP30開催前から期間中にかけて、数々のセッション、議論を繰り広げる。アメリカの非国家アクターにも注目。**

お知らせ



WWFジャパン主催 スクール・パリ協定プラス 2025
COP30の注目点 基礎概要編
動画・資料：

<https://www.wwf.or.jp/event/organize/6052.html>



日時：2025年11月7日（金） 14:00 ～ 18:00

場所：イイノホールまたはオンライン

主催：気候変動イニシアティブ（JCI）

詳細：<https://japanclimate.org/news-topics/jcas2025/>

together possible™



Working to sustain the natural
world for the benefit of people
and wildlife.

together possible™ panda.org

WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF. All rights reserved.
WWF, 28 rue Mauverney, 1196 Gland, Switzerland. Tel. +41 22 364 9111
CH-550.0.128.920-7